

会議録（要点筆記）

会 議 名	令和3年度第1回米原市総合教育会議
開 催 日 時	令和3年4月21日（水） 午前10時00分から正午
開 催 場 所	山東庁舎別館 2 AB会議室
出席者および 欠席者	<p>【出席者】 （構成員） 平尾道雄市長、馬淵均教育長、中川清和教育長職務代理者、法戸繁利委員、膽吹照子委員、本庄通子委員、井口英知委員（計7名）</p> <p>（事務局） 鹿取輝之政策推進部長、清水正樹政策推進課長、松村英香政策推進課課長補佐、上村浩教育部長、西村善成教育部次長、山口昌章学校教育課長、藤田明子学校給食課長、梶田悟生涯学習課長、花部正人スポーツ推進課長、立木ひろみくらし支援部長、口分田剛くらし支援部こども未来局長、小寺真司保育幼稚園課長、石河輝男子育て支援課長、ほか担当職員1人、民間事業者（教育振興計画策定支援）1人（計15人）</p>
議 題	（1） 米原市教育大綱素案について （策定経過、素案の内容、今後のスケジュール）
結 論	○教育大綱の位置付け、教育振興計画との関係については、前回と同様に教育振興計画をもって大綱に代えることとするが、コロナ禍など現状を踏まえた視点や米原らしさを取り入れた教育大綱を築いていく。
審 議 経 過	<p>1 開会 （事務局から開会あいさつ）</p> <p>2 市長あいさつ 皆さん、こんにちは。市長の平尾でございます。 本日は、お忙しいところ、米原市総合教育会議に御出席をいただき、誠にありがとうございます。 また、皆さまには日頃から米原市の教育行政の推進に多大なる御尽力を賜っておりますことに対しまして、重ねて感謝を申し上げます。 さて、新型コロナウイルスのお話になりますが、滋賀県のステージ判断が注意ステージから警戒ステージに引き上げられることとなり、予断を許さない状況が続いています。それに関連して皆さんにお詫び申し上げます。すでに御案内しています4月23日の新庁舎竣工記念式典を大規模に縮小してやらざるを得ないこととなり、皆さまには急遽見合わせていただくこととなり、心からお詫び申し上げます。5月6日の開庁以降には、新庁舎で平常の業務を行っていますので、ぜひ庁舎内も御案内させてもらえたらと思います。</p>
市長	

	<p>本日は、そうした中で第1回の総合教育会議となります。</p> <p>今年の4月に就任いただいた馬淵教育長におかれましては、初めての会議になりますけれども、昨年の9月の段階で教育大綱は、教育振興計画のなかで位置付けられたもので、教育振興計画の策定と合わせて大綱を変更することとなっています。</p> <p>本日は、米原市教育の基本である教育大綱素案について御意見をいただくことにしたいと思います。この教育大綱は私から申し上げるまでもなく、本会議のほかに同時に教育振興基本計画ということで、審議会でも議論を進めていただき意見交換をしていただいているところです。また、市民の皆さん、中学生、高校生等へのアンケートも行ったということですので、その結果も参考にさせていただき、本日は皆さんから忌憚のない御意見を伺いたいと思います。</p>
事務局	<p>3 協議事項</p> <p>米原市教育大綱素案について、まずは事務局から説明いたします。 (事務局から説明)</p>
市長	<p>一挙に説明がありましたので、なかなか議論が難しいかもしれませんが、皆さんから順次御意見をいただけたらと思います。先に、資料2については相当重要な内容だと感じるのですが、審議会ではこれに基づいて議論されたんですね？</p>
事務局	<p>はい、こちらよりもう少し詳しい国の計画やいろいろなことを付け加えた資料をもとに第2回の審議会で検討いただきました。今回の資料は、その審議会の資料を簡素化しているものになります。</p>
市長	<p>行政内部の話になるが、成果の達成状況として「悪化」とあるものについては、重点目標ヒアリング時に詳細を確認したいと思うので、準備をしておくように。それと、これらの資料は事前に委員の皆さんに配布されていたのか？</p>
事務局	<p>はい、事前に配布いたしました。</p>
市長	<p>はい、とは言うものの、難しい内容もあるかと思います。委員の皆さんからは忌憚のない意見を率直な感想も含めていただけたらと思います。</p>
委員	<p>質問を二つさせてください。 一つ目です。資料2の見方について、計画策定時現状値（H27年度）に対し</p>

事務局	<p>て施策を実行した現状値、最終的には令和2年度の数値が掲載されると思います が、この平成27年度と令和2年度の数値を見比べて達成状況の評価をするとい うことですか？目標値というのは、それを踏まえて今回目標を定めるというこ とですか？</p> <p>二つ目です。アンケートについて、回答率が市民の方と高校生はかなり低いと 思います。それが統計上有効かは別として、前回はアンケートがあったと思いま すが、回答率の低さは例年このような状態なのでしょうか？</p> <p>一つ目の質問について、こちらの達成目標は、「達成、未達成、悪化、現状維 持」の4つで分けています。</p> <p>「達成」は、現状値が既に目標値を超えているものについて挙げています。 目標値は平成27年度の計画策定ときに令和3年度の目標として掲げたもので す。</p> <p>「未達成」のものは、策定時よりは目標値に近づいているが、目標値にはまだ 届いていないものとしています。</p> <p>「現状値」は平成27年度と変わらないものとしています。</p> <p>「悪化」は計画当初よりも目標値から離れているものとして記載しています。</p> <p>二つ目の質問について、アンケートの回収率は、前回平成27年1月にしたも のでは、市民は57.9%、高校生は53.3%で今回よりは少し高くなっています。</p>
委員	<p>ということは、一つ目については、平成27年度策定時に対して、それが終結 する令和3年度の目標値を掲げました。それで、表の真ん中は令和2年度の現状 を載せたということですね。</p> <p>アンケートの回答率が低いことについては、理由がわからないということす ね。</p>
市長	<p>ほかにご意見ありませんか。</p>
委員	<p>今の資料2のご意見について、平成27年度からの目標値について、平成27 年度から比べて、途中で目標を達成していることもあれば、悪化していることも あるかと思しますので、いろいろな見方があると思います。</p> <p>それと、平成27年の策定時に令和3年度に向けた数値をかなり高い目標とし て掲げられたものもあると思うので、実現が難しい部分もあるでしょうし。目標 値をどの程度にするのか、取組によって頑張っておられて、達成されているもの もあると思いますし、やはり状況によって達成するのが難しいものもあるのかな と思いました。</p>

市長	ほかに、どうでしょうか。
委員	<p>先ほど委員から出された、高校生等のアンケートの回答率が非常に低いという意見について、私は補導員の関係で高校にも行くんですが、小中学校は同じ市内にあって、先生方・学校同士も市内で交流がありますが、高校へ行くと公立と私立との違いも出てきますし、市外も含めた交流になってきますので、お互いにあまり関心がない、「卒業しているからもう関係がない。」と言われることも多く、スポーツ推薦で来た子でさえも、後々どうなっているかについてはあまり関心が持たれていないように感じます。本人たちも卒業したら、地元に対する関心が低くなってしまう状況があると思います。やはり本人たちも地元に対して関心がないのかなと感じますし、家庭でも同じですね。そういう意味では何か地元に関わる、関心を持ってもらえるような取組、意識づけをしていかないと、こういうことは変わっていかないのではないかと思います。たかがアンケートではありますが、それに対して「将来この集計を役立ててもらおう。」と思う気持ちがあれば、結果も随分変わるとは思います、それが無いというのは大きな問題かと思えます。</p> <p>それと、コミュニティスクールについてもいろいろ見せていただきましたが、やはり学校によって取組方が全然違うと思います。スタートしたのが早いところもあれば去年スタートしてあまり期間がないところもあるので、違いは出てくると思うのですが、これが地域に関わる一つの意識づけになると思います。ある程度の目標を掲げた学校は高いレベルで地域とも積極的に関わるとは思いますが、そうでないと「この程度でいいかな。」といった状況も見受けられますので、ある程度は統一したかたちで地域と取り組んでいただきたいと思っています。</p>
市長	はい。ほかにどうでしょう。
委員	<p>意見するのが難しいですが、アンケートは若い人から年配の方まで 2000 人を対象としていて、なかなか難しいところがあるのかなと思います。中学生は各学校で回答、高校生や市民は手紙で郵便するという方法ではないといけないんですよ。そういうところできっといろんな事情があると思いますが、意識のある人は回答されると思いますが、いろんな理由があって出せなかった人もいると思うので、それが結果の数値として出たのかなと思いました。</p> <p>書いて出すだけのものですが、先ほど言われたように関心度が表れているのかなと思います。</p> <p>それともう一つ。先日、県の教育行政の説明会に参加したなかで、国からの説</p>

明もあり、「主権者教育」という新しい言葉が出てきました。これまでは「読み解く力、学び」といったものを聞いていましたが、この新しい「主権者教育」というのが頭に残りまして、具体的によく読んでみると、「主体性を引き出して、実行力を引き出す」という内容でした。

この内容は、教育大綱にも含まれていて、学び続けるためには、子どもたちが教わったことを思い出して、それを大人になってからも続けて勉強していくことが重要で、「主権者教育」は自分で問題を感じて、どういうふう生きるか。その問題に対して自分で考えて米原市の中でも行動すること。いま、いろんな生き方や多種多様について言われていますが、やっぱり引き出す教育が大切だと感じます。

アンケートでもいろんな理由がありますよね、子どもたちも心の中でいろいろな思いを持っていて、大人もそうですが、それを出しにくい今の世の中がある。自分は「こういう気持ちで、こういうことをしているんだ。」ということを引き出す力も不足していて。大人も同じですが、そういう思いを隠してしまって。コロナの影響もあって、話をする機会も減っていますし。自分はこういう思いで、それに対しては賛同的だとか、それは進められるとか、そういった理由や自分の思いを出せて、主体的に動けるというのはすごく大事なことだと思いますし、そのことが前回第2期から第3期にわたって議論がされて、「生涯にわたって」とか、「しなやかに」という言葉が入れられたのはすごく良いことだと感じています。

「読書を進める」ということを言っていたので、図書館教育、本を読むということは、見返せるんですね。今の情報化社会で映像は入ってきますが、入っては出ていき、入っては出ていきになっています。本というのは、言葉や文で書いてあるので、読み返すこともできるし、自分のものにして違う言葉に置き換えることもできます。子どもたちにとって、良い図書館環境で、手にとって見たり調べられたりする環境を作っていただきたいと思います。そのために、教職員や私たち大人も子どもに語りかける、「この本は良いよ。」と本の紹介をしたり、そばにいて勧められるような勉強の仕方や過ごし方を作っていってほしいと思います。

私自身、図書館の中にじっくりいる時間がないので、地域教育として地域に関する資料はどれだけあるか、市役所の中には文化財の資料がどれだけあるかがわからないのですが、できたら子どもたちがじっくり調べられるための資料を学校も含めてたくさん置いていただくと良いなと思います。今はホームページなどで検索すればたくさん情報がわかりますが、やはり書いてあるもので調べられる地域教育の場を作っていただけるとありがたいなと思います。

愛知川や八日市の図書館では、「地域のものはここに置いています。」といった

	<p>場所があって、高齢者の方にも見える教育というか、大きい字で書いてある本が並んでいたり、小さい子も手に取って絵で感じられる本があったりします。そこに地域の詳細が分かる資料も置いてあると良いなと思いましたし、米原でもそうした取組が目に見えて分かるような展示があると良いなと思いました。</p> <p>そしてもう一つ、LGBTの話も聞かせてもらって、多種多様と言われますが、本当に一人一人違って、千人いたら千通りの考え方があって。一人一人の子どもたちや障がいのある人も自分の考え方を大人に出せる社会になればと思います。今はまだ、なかなか自分の思いを出せない、反映できない人もいて、引きこもりの人もおられますし、そういった方へのフォロー、思いを出せる場づくりがまだまだできていないと思いますので、できるだけ皆さんが寄り添えるようにしたいなと市民としても思いますね。この教育大綱の内容をみんながわかるようになればいいなと思います。</p> <p>意見というか、感想になりますが、アンケートの回答率について、やはりここ数年、時代の変化がありますね。毎年毎年、学年のカラーもありますし。ただ、年々他人への関心が低くなっているように思います。社会全体として他者への関心が低くなったと感じています。親と子、先生と子など、それぞれが関わりあってこそ、改善されていくことがあると思いますし、そういうことも含めた大綱だと思います。親側がどういうふうに関心を持っていくか、ということも課題かと思っています。なので、アンケートは意識のある人は回答されていますし、「自分一人が出さなくてもいいでしょう。」という人は回答されてなくて、それが結果に反映されてしまったんだと思います。前回からいろいろな意味での社会の変化が背景にあるのかなと思いますし、自分も含め、一人一人の大人の意識を今一度見つめ直さないといけないのかなと感じます。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>私たちは議論を通じて、結果を出していきますので、希望を言えば、審議会としての議論の中身をもう少し資料として出していただけると、もう少しかみ合っていくというか、議論ができるのかなと思います。</p> <p>今、アンケートの回答率が大人と高校生は低いという意見が出ましたが、全然違う観点からすれば、「高校生が3割も答えてくれている。」というふうにも思えるんじゃないかと。確かに少ないのは少ないんですが、同じように市民も4割なんです。いま、委員の方々からも意見が出ましたが、大人のふるまいが結果として子どもに表れているということだと思います。選挙でも投票率は悪いので。それを反映するというわけではありませんが、若い人も選挙に行かない。</p> <p>主権者教育の問題、あるいは生き方の問題、当事者教育というか、言葉として</p>
委員	
市長	

委員	<p>いろいろ出始めていますが、少数であるけど、偏りがあるけども、もっと議論することが米原らしいというか、人口の少ないまちとして、県や国の意見にこだわらず、私たちの実態に即して必要な大綱や振興計画を作るべきだと思います。米原らしい、米原バージョンということに関わって、そういう意味では現場の先生や保育関係者がどのように子どもたちを見て、親を見て、地域を見ているかという意見を入れてほしいと思います。</p> <p>そういった点では、総合教育会議なので、私も参加させてもらっていますが、ぜひ、教育委員会の議論の中で、地域、学校現場、子ども達の実情を通して、既にいろいろやっていただいていると思いますが、大きな変化がきている時代なので、もう一度教育委員として議論を深めて、教育大綱という骨組みの骨太の中に入れてほうが良い言葉などを、それぞれ委員の立場に立ってキーワードだけでも結構ですので米原市ならではの言葉や思いについて、意見を入れていただきたいと思います。</p> <p>教育大綱の文言の説明で、家族の問題を現場がどう見ているかについては、一面的なことしか言えませんが、「やはり親らしくない。」「家庭の教育力がないう。」とずっと言われている一方で、私が話をする子育て中の夫婦は、「何もかもではありませんが、かなり家庭に期待されている。『子育てはもちろん家族や親がすべきもの』と言われると信頼関係がなくなる。」とおっしゃるのですが、そういうニュアンスで捉えられる傾向があるのかなと思います。それは先ほど出ました、1歳児の保育需要の高まりにもつながるかと思いますが、背景には間違いなく経済的な部分があります。かつて私の父親の時代の子育てでいうと、ほとんどの家では専業主婦で、稼ぎ手は1人というのが家族の形であったんですね。ところが、今は共働きの世帯がほとんどで、70%ほどあると思うんですね。これだけ増えたのはなぜかという、単にお金が欲しいのではなくて、必要な所得を得るためにはそうせざるを得ない状況があるんです。経済的な指標でも明らかですが、サラリーマン家庭の所得はここ数年下がっています。2人で働かないと生活が維持できない、将来の設計ができないということです。大手企業に限らず、一般企業も公務員も給料は上がっていませんし、こうした経済的背景、時代の変化をつかまないと、単に親や家庭が悪いというふうになりかねないので、そういう客観的な指標も出しながら教育、子育てを議論していかないといけないと思います。</p> <p>いま、市長がおっしゃったことで、なるほどと思うことがたくさんありますし、私個人の意見かもしれませんが、世の中の報道を見ると、いろいろな事件があるたびに、さまざまな話がされますが、ややもすると我々の傾向として一つの出来事が個別の問題なのか、それともその背景に全体に通じる課題が潜んで</p>
----	--

委員	<p>いるのか、非常に難しいのですが、そういうことを見る条件、データ、それが何を示しているかを見極めることが重要だと思います。そうでないと一つ一つのセンセーショナルな出来事に振り回されて、さも全体の形相かと思ってしまうこともたくさんあるので。</p> <p>私個人の意見として、客観的な冷めた目で、引いた目で判断することはできませんが、みんなの力で普遍性なものにしていかないといけないと思いました。そう考えると、教育大綱というのは理念や目標があって、具体化するのですが、少し話は飛びますが、今回の大綱は特殊な背景としてコロナが入ってくるので、振り返った時に、「あの時期は特殊な教育大綱だったな」となるかもしれませんが、それが現実です。先ほど話した中にこういった背景を含ませながら、しなやかに捉えていかないといけないと思います。</p> <p>あくまでも理念なので、普遍的なことも入りますが、問題は、これを踏まえて具体化するときに、コロナのこと、ピンチをチャンスに変えていって、今までやってきたことが世界的な状況で市民の生活がどうなのかということを見直すチャンスにすることだと思います。これは大変な作業ですが、じゃあ何がどうなるかという、見極めが難しいが、ピンチはチャンスに変えるということで、結果的には今までやっている事業内容に必ず見直しを入れて、やめること、力を入れることを考えて予算も組み立てていくといったチャンスにすべきだと思います。</p> <p>ただ、この大綱には普遍的なことも入っていますので、それを具体化するときにこれからどうしていくかを知ってもらいたいと思います。</p> <p>今の意見に関わって、委員がおっしゃたように、コロナが近い将来にやってくる社会の姿へと早く進めてくれたと考えるべきではないかと思います。学校で言えば、ICT教育が進みましたし、少子化などの問題を考えるとああいうものがあるのは良いことだと思います。そういう中で米原市でもそうですが、人との関わり合いをどうしていくかが問題だと感じます。知識は知識としてたくさん入ってくるなかで、能力に合わせてちゃんと進めていけるとは思いますが、関わり合いがだんだん疎遠になって、例えば婦人会や老人会も解散しているので、我々の先輩世代になると、「寂しいじゃないか、これからどうするんや。」と言われるんです。ただ、よく考えてみると、SNS でいろいろな関わり合いを持てるんですね。これまで地域社会で人に会って絆を深めていたのが、顔を見なくても本人なりに心の絆を作れる時代になっていると思います。そうしたものと融合した形で、米原市の地域の絆作りをどうするか、ということを経済的に考えていかないといけないと思います。</p> <p>今までの延長では全然できないことだと思うので、若い人の意見も聞きながら、SNS なども使いながら、絆を作るということをしていく必要があると思います。</p>
----	---

委員	<p>ます。そういう面で、学校でも1人1台タブレットが整備されてハード面は揃っても、ソフト面をどう充実させるか、ということにもっと力を入れていかないと中途半端に終わってしまう気がするので、集中的にやってほしいと思います。</p> <p>基本目標の1で、先ほどから出ていますが、「しなやかさ」という言葉を入れることですごく変わるなと感じます。この言葉にはたくさんの意味、思い、願いが入っていると思います。複雑な社会や状況でも柔軟に対応でき、慌てることなく行動できる。心的、外的なストレスを受けた時に、どう対処して、折れないで止まれるか、そういう「しなやかさ」にもつながっていると思うので良い言葉だと思います。</p>
委員	<p>抽象的な言い方になりますが、私は小学校で子どもたちと交通安全で関わっていて、挨拶日本一と掲げていますが、子どもたちからはなかなか挨拶してくれません。ただ、私のほうから挨拶すると、大きく返事をしてくれます。やはり鏡を見て、こちらが怒ると向こうも怒った顔になって、こちらが笑うと向こうも笑顔になるように、大人の振る舞いによって子どもは良い方向に導いていけると思います。なので大人自身の子どもに対する踏み込んだ関わりが大切だと思います。最近は時代背景的に踏み込むことを嫌う大人がいるような感覚があり、それもあって、関係性が薄くなっている気がするので、大綱になると「頑なにではなく、しなやかに」ということを含めることで、「柔軟に行動できること」を大きく巻き込んでいくことが大事なのかと感じます。</p>
委員	<p>全然違う話になるかもしれませんが、人権擁護委員をさせてもらうなかで、先日説明いただいた際に、夫婦が赤ちゃんを抱えている画像が写されて、「この家族はどんな家族だと思いますか？」と聞かれて、「旦那さんのほうが年上だと思う」とかいろいろな意見が出ていたんですが、そのときに、LG BTの話が出ました。旦那さんに見えていた人が女性かもしれないし、年齢も逆かもしれないし、女性同士かもしれない。それで、「夫婦というのは男と女だとか、そういったさまざまな固定観念を外してください。いろんな方がいて、そのことが認められる世の中になってきているんだから。」と言われました。</p> <p>それに対して、皆さんがどのように関わっていくか、ということをお話しいただいたこともあって。家に子どもが3人いれば、考え方も生き方もそれぞれ違う、それぞれに自分がどう関わるかが大事だと気付かされました。言葉一つにしても声のかけ方次第では、例えば家庭の中で自分の思いを出せなくても、地域の人に話しかけられたら話すかもしれないし、社会の中で、みんな、地域で育てることが大切なんだと思います。ストレスを抱えている子がいたとして、親が聞</p>

<p>市長</p>	<p>けなくとも、学校の先生なら聞けるかもしれないとか、地域の人なら「自分のことを助けて。」と言えるかもしれないですね。たとえ一人でも自分のことを分かってくれる人がいれば、集団の中で生きていく力につながると思うんです。自立心というのは、ただ自分で自分の好きなこと、自分のことをできるようになるだけではなく、人に「助けて」と言えることも大事なので、そういう意味でも自立した子どもたちに育てることが大事なと思います。</p> <p>自殺とかを思うと、自分が殻に閉じこもって「助けて。」と言えない世の中になる可能性が多いなかで、一人でも分かってくれる、自分を出せる場があると救われるんじゃないかなと思うので、そういう「しなやかさ」を備えた人になりたい、そういう子を育てたいと、みなさんに伝えていきたいです。</p> <p>やはり、相手のことを考えて言葉かけができる、そんな社会の中で生きていける子どもたちを育てたいですし、そんな教育を米原でできたらと思います。たとえ一人でもそういったことで救われる子がいたら良いなと感じます。</p> <p>私はどうしても行政の立場で物事を考えないといけないんですが、かつて家族と言えば、両親がいて、子どもたちがいて、場合によっては祖父母がいて3世代同居の家庭もかなりの比率で地域にあったと思います。</p> <p>しかし今は、全国的なデータからみても、中山間地域といわれる田舎では、高齢者一人のみの家庭、高齢者のみの夫婦世帯が4割から5割を超え始めています。かつては、「ここは消防団でやってね。」「自治会もがんばってください。」という状況がありましたが、今は、地域で地域を守ったり、清掃したり、「地域を管理する力」がますます落ちてきていると思います。こういう状況で公がどういう振る舞いをするか、制度づくりをするかが、大きな転換期になっています。しかも、今のコロナ禍で、なかなか人と接触ができない、集まれないという状況で、本当に地域の力が弱くなってきている。</p> <p>その背景には、「家庭が家庭じゃなくなっている。」とまでは言いませんが、一人暮らし、高齢者二人暮らしとか、生きづらい思いをしているハンディを持った少数派の人たちもいます。こういった地域の現状に対してどういう地方行政であるのが問題です。おそらく教育の現場でも、人権の問題と捉えていたものが人権だけでなく普遍的な問題になりつつある。異質・少数なものが、決して異質・少数ではなくなってきているし、そのことをちゃんと受け入れていかないと、不要な摩擦を起こしてしまう時代になってしまうと思います。</p> <p>そういうことも含めて、私たちはこの教育大綱で、学校教育、生涯教育とかそういう分野で議論するのではなく、全人格の生きざまを受け入れられる、しなやかに頑張れる人をどう作るかを考えないといけませんね。「頑張る」というのも、私たちはつい「頑張れ」と言ってしまうんですが、自力、自助で乗り切るにも</p>
-----------	--

<p>教育長</p>	<p>限界があって、むしろ「助けてほしい」と弱音を吐ける環境がないことが結果として不幸な事件事故を起こしていると思いますので。そういうことも含めて、学校の人間関係、地域との関わり方も、これまでとは相当違うテコ入れをしないと「いまだにこんなことを?」「もう、ずれているよ。」という教育実態になりかねないと思います。</p> <p>「何もかも新しく見直して」というわけではありませんが、我々はどういった時代の壁に敏感になるべきだと思います。</p> <p>では、教育長から全体的な意見、広域的な観点からでも良いので、ご意見をお願いします。</p> <p>感想も含めて述べさせていただきます。</p> <p>最初のほうで、アンケートについて意見がありましたが、例えば資料2で、全部達成ということはあり得ないわけです。ここでは米原市の良さと弱みが浮き彫りになっていると思います。待機児童ゼロというのはすばらしい結果だと思います。私が15年ぐらい前に他市で教育委員会にいた際には、3歳児の入園をくじ引きしていました。そんなことを思うと、米原市のこの結果は大きな強味です。</p> <p>次に、学力調査で「読む能力」がかなり改善されていますが、図書館の児童書貸出冊数は悪化しています。この矛盾した結果は、社会情勢の影響を受けているのか、あるいは学校に司書を入れていることが功を奏しているのか、いろんな状況があると思います。全体として、達成状況の評価や目標をどうするか、米原市の強みと課題を読み取って、次の大綱に生かしていくことが大事だと思います。</p> <p>そして、新しい教育大綱の基本理念は非常に素晴らしい言葉であるので、これを引き継ぐことは意義あることだと思います。全体を見て、第1期では抜けがないように全て網羅するようなものになっていたかと思います。そして、2期、3期と積み重ねる中で、米原らしさが増している状況だと感じます。全体的に具体性が増してきて、目標が明確になって、その結果、これを市民に示した時に発信力が増してきている、教育の覚悟がはっきりしてきていると思います。</p> <p>それから、全体として「米原市のために、働く、動く、行動する人を増やす。」という意味合いの文言が増えてきていると思います。基本理念の2ページ、学びの成果を地域に生かせるまちづくりを進めるということ。一生勉強ですが、どの年代になってもその学びを地域に生かせるというこの表現は良いものだと思います。基本目標1の「しなやかに」が入ったこと、そして説明の一番最後、「次代の米原を担う米原らしい教育の推進」という文言、そして基本目標2で「ふるさとを愛する人」「故郷に夢と志を持ち行動する人」という言葉が入っています。この「志」という言葉もすごく良い。「志」には必ず他者がいて、そ</p>
------------	---

市長	<p>これは家族、地域の人、障がいを持った弱者、さまざまだと思いますが、その人のために何ができるのかを考えたり、「こうしよう。」と志を持った人を育てるという意味を持った非常に良い文言だと感じます。</p> <p>それから、4ページで先ほど委員がおっしゃった、LGBTの件で基本目標3のところ、「多様性を尊重した教育を推進する」とありますが、まさにLGBTの方への対応が入っていると思います。LGBTという文言を使わなくても、この表現で解釈できると思います。県の重点施策研究会で、LGBTの研修を受けたが、LGBTの子どもたちがいじめられていたり、不登校になっていたり、自傷行為をしている確率が高いということを知りました。</p> <p>次の校園長会議でお示しますが、その教育も進めるべきだと思います。</p> <p>それから、ICT教育について、非常に大事で国や県の説明では、なぜ進めるのかというと個別主体的な学びとされています。例えば、体育の授業では、同じスピードで同じ距離を走れと言っている感じの教育が、一斉事業では行われますが、子どもはバラエティに富んでいて、早い子も遅い子もいる、得意不得意もある、その部分を補うのがICTで、自分の弱点に対して、個別に自分に合った学びをタブレットを使って行う。それだけでなく、ICTで協働的な学び、対話的な学びで深い教育につなげたいというのが今の学びになっていますから。個別主体的な学びと協働的な学びをミックスした教育が必要で、それをしながら深い学びにつなげていきたいと思っています。</p> <p>それから、基本目標5で「市民の郷土への愛着を育て、次代の担い手になるよう、活動を支援する」とあります。これもはっきりと方向性が出ていて良いと思います。良いところを見つけて知らせるのが教育の基本ですから、子どもに自分の良さ、成長、可能性を実感できるような場を作っていくと、子どもは自己肯定感を持ってどんどん成長していきますし。そうした米原の良さや、米原がどれだけ伸びてきたか、米原のどんな可能性があるか、そういったことで教育の体力を向上させることが大切だと思います。</p> <p>今日出していただいた意見は、結果として理念としてつなげてほしいと思いますので、ぜひ、事務局として受け止めてください。もう一度一言申し上げますと、コロナ禍で中央、東京がいかにもリスクで、便利で快適だと思ったけど怖くて住みづらいということがはっきりしました。言葉だけ並べると「中央よりも地方、都市よりも田舎」だということ、必ずしも経済とか産業では無視できないが、基幹産業である農業、林業といった第一次産業にもっと生真面目に向き合う時代になっている。これまでの「中央が良い。」「都会が良い。」という教育ではなくなってきているということをごまかして言うか、やはり米原は、たとえば手作りをすとか、職人として感性に任せて仕事をすとか、そういう人たち</p>
----	---

	<p>が大事にされる。</p> <p>そういう意味では全然違う教育の方向性を明らかにしたほうが、行政としてもその教育を応援できるし、その教育を受けて頑張ってきた人を支援することにつながるのではないかと感じます。コロナをどう転じていくのかという点では自信を持って中央政治よりも地方政治。中央で決定されることより地方自治のほうが大事だと実感しています。そういった意味でも、本当の地方教育というか、米原らしさ、米原教育が表現されている教育大綱につなげてほしいと思います。</p> <p>米原市の教育大綱については、本日いただいたさまざまなご意見を踏まえて、5月下旬に開催の教育振興基本計画審議会で提示して、ご意見をいただきたいと思います。その後、審議会での意見を参考にして、次回の会議では、教育大綱の最終案を策定いただくことになります。</p> <p>では、本日はこれで以上となります。ありがとうございました。</p>
会議の公開・非公開の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者：なし</p> <p><input type="checkbox"/> 一部公開</p> <p><input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>一部公開または非公開とした理由</p> <p>()</p>
会議録の開示・非開示の別	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示</p> <p><input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：)</p> <p><input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)</p>
全部記録の有無	<p>会議の全部記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p>
担 当 課	政策推進部政策推進課 (内線4232)